Express5800 シリーズ
冗長電源構成における電源ユニットの組み合わせに伴う発生事象について

日頃より、弊社 Express5800 シリーズをご愛用いただき、厚く御礼申し上げます。
以下に記す対象装置を冗長電源構成で運用する場合、電源ユニットの組み合わせによっては電源ユニットの冗長化機能の制限が発生する場合があります。対処方法を案内いたしますのでご対応をお願い申し上げます。

1. 対象装置

Express5800/R120h-1M, R120h-2M
Express5800/R120h-1M (2nd-Gen), R120h-2M (2nd-Gen)
Express5800/R120h-1M (3rd-Gen), R120h-2M (3rd-Gen)
Express5800/R120h-1E, R120h-2E
Express5800/R120h-1E (2nd-Gen), R120h-2E (2nd-Gen)
Express5800/R120h-1E (3rd-Gen), R120h-2E (3rd-Gen)
Express5800/T120h
Express5800/T120h (2nd Gen)
Express5800/T120h (3rd Gen)
iStorage NS500Ri ※標準で800W電源ユニット実装
iStorage NS500Rj ※標準で800W電源ユニット実装

2. 発生事象

N8181-160 電源ユニット(800W/Platinum) もしくは、N8181-162 電源ユニット(1600W)を２個実装し冗長電源構成で運用している装置において、以下の条件の両方が合致する場合、次の事象が発生します。

＜条件＞
・装置に搭載している電源ユニットの内部型番が異なる
・Starter Pack S8.10-010.01以降が適用されていない

※電源ユニットの内部型番が異なる場合でも互換性があるため混在動作における問題はありません。電源ユニットの内部型番の確認方法は別紙をご参照ください。

＜事象＞
電源ユニットの内部型番が異なることにより以下の事象が発生します。

① POST中に「Caution,Mismatched Power Supply Installed」のメッセージが表示されます

② IMLに次のメッセージが登録されます
Caution,86,1985,0x000B,Power,0x0015,Power,02/15/2021 02:40:01,148:Mismatched Power Supply Installed ACTION: If running a redundant configuration, be sure that all of the power supplies in the system have the same spare part number and are supported by the server

③ iLO-webインターフェース上でPower SupplyのStatusがDegradedになります。
※ 電源の冗長機能自体は有効です。

＜事象による影響＞
次の２か所のシステムユーティリティの設定が初期設定値に固定されます

a)「System Configuration」→「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」→「Power and Performance Options」→「Advanced Power Options」の「Redundant Power Supply Mode」が、「Balanced Mode」に固定されます。

b)「System Configuration」→「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」→ 「System Options」→ 「Boot Time Optimizations」の「Dynamic Power Capping Function」が「Disabled」に固定されます。

3. 対策

Starter Pack S8.10-010.01以降を適用いただくことによって対策が可能です。
＜ご参考＞ 2023/2/8時点の最新 Version：Starter Pack S8.10-010.06
https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010110610

4. 暫定対策

前項の対策が困難な場合は、事象①②③の発生を回避する暫定対策として、サーバ起動時に<F9>キーを押しシステムユーティリティを起動した後、
「System Configuration」→「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」→
「Advanced Options」→「Mixed Power Supply Reporting」
の設定を「Enabled」から「Disabled」へ変更した後、装置のAC電源入力のOFF/ONを実施してください。これにより、電源ユニットの型番チェックが無効化されます。

今後ともシステムの安定稼動と品質安定に向けて取り組んでまいりますので、何卒ご理解とご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上

＜別紙＞ 電源ユニットの内部型番の確認方法

電源ユニットのラベルに印字されているSPNもしくはSpare Part Noをご確認ください

電源ユニット名	内部型番１	内部型番２
N8181-160　電源ユニット(800W/Platinum)	866730-001	P39385-001
N8181-162　電源ユニット(1600W)	863373-001	P39384-001

N8181-160 電源ユニット「内部型番１」

N8181-160 電源ユニット「内部型番２」

N8181-162 電源ユニット「内部型番１」

N8181-162 電源ユニット「内部型番２」